

◆校訓◆ 「母校ヲ愛スル者ハ國ヲ愛ス」 (本校の卒業生 小泉信三先生の言葉より)

教育目標 (目指す児童像)

- よく考え くふうする 子ども
 - 進んで行い やり通す 子ども
 - 仲よく はげましあう 子ども
 - じょうぶで 心ゆたかな 子ども
- 《人権教育の視点》
- ◎自他の違いやよさを生かし、ともに高め合う子ども

目指す学校像

みんな元気 たのしい御田小 ～「学校が好き」と誇りをもっていえる 人々が集う学校～



重点目標と取組

目指す教師像

- ◎「組織(御田ファミリー)の一員」としての責任感と協調性を有し、学校運営に参画する教師
- 「全ては子供のために」という考えをもつ、深い愛情に満ちた教師
- 「教育のプロ」としての使命感をもち、自己研さんに励み、互いに高め合える教師
- 「地域とともにある学校」としての意識をもち、保護者・地域と協働する教師
- 「教育公務員」としての職責を自覚し、法令や規則、服務規律を厳正に遵守する教師

◆◆教育内容の充実◆◆ ～学級経営の基盤は、授業～

◆中期的経営目標 ◆短期的経営目標

徳育 「自分・友達・言葉」を大切に

- ◆自他の人権を理解し、尊重する態度の育成
 - ・平成31年度/令和2年度「東京都人権尊重教育推進校」
 - ・オリンピック・パラリンピック教育を通じた人権教育
 - 育成する資質:「障害者理解」「豊かな国際感覚」
- ◆基本的な生活習慣の確立と礼節をわきまえた態度の育成
 - ・「挨拶・感謝・言葉遣い」
 - (気持ちのよい挨拶をする。感謝の気持ちを言葉に表す。場・人に応じた言葉遣いをする。)
 - ・「ごはしじゅう」
 - (拍手・履物・働く・配膳・はいの返事)
- ◆積極的に集団・人にかかわる態度と自己有用感の育成
 - ・集会活動の充実
 - ・学級活動の活性化
 - ・定期的なたてわり班活動
 - ・学年合同遠足
 - ・異学年との交流

《数値目標》「子供たちは気持ちよく挨拶をし、服装などの身だしなみは整っているか。」

→肯定的回答90%以上/「達成している」40%以上

知育 「学び」の実感

- ◆「学びに向かう力」の育成
 - ・主体的に学習に取り組む力、自らの思考過程を客観的に捉える力
 - 目標・見通し…何を学ぶのか・何のために学ぶのか
 - 振り返り…何を学んだ(できた)のか・次は何をすべきか
- 《数値目標》「子供たち学習に意欲的に取り組んでいるか。」
- 肯定的回答95%以上/「達成している」60%以上
- ◆思考力・判断力・表現力の育成
 - ・言語活動の充実
 - (「話すこと・聞くこと」にかかわる活動の重視、朝のスピーチ)
 - ・授業のICT化、プログラミング教育の取り入れ
 - ・「ものの見方・考え方」を養う授業の充実
 - ・情報活用教育の充実
 - (学校図書司書、RASとの連携、「学校図書館の手引き」を活用した読書活動)
- ◆基礎的・基本的な学力の定着
 - ・授業におけるユニバーサルデザイン化
 - (「焦点化」、「視覚化」、「共有化」、「個に応じた支援」)
 - ・「学びの心得」をもとにした学習規律の指導
 - ・朝学習の時間の有効活用

体育 「健康意識」の向上

- ◆運動への関心・意欲、基礎体力の向上
 - ・体力調査結果を生かした体育の授業
 - ・体育朝会、業間体育(長縄跳び・持久走)
- 《数値目標》
- 「体育の授業の充実や健康づくりの推進など、子供たちの体の成長を考えた活動を行っているか。」
- 肯定的回答95%以上/「達成している」60%以上
- ◆健康に関する資質・能力の育成
 - ・保健指導の充実
 - ・歯の健康指導
 - ・保健だよりの発行
 - ・校医を招いた学校保健委員会の開催
- ◆食に対する知識の定着と関心の向上
 - ・給食を中心とした食育の推進
 - ・季節に応じた学校給食の献立
 - ・給食だよりの発行
 - ・給食試食会
 - ・教員対象の食物アレルギー研修

生き抜く力

- ◆郷土愛と愛校心の育成(令和2年度 開校20周年に向けて)
 - ・開校記念集会の充実
 - ・地域の特性や環境を生かした学習
 - ・地域人材(町会・同窓会関係者等)を活用した学習
 - ・6年生有志による「御田太鼓」・秋田県美郷町立千畑小学校との宿泊を伴う相互交流
- ◆特別支援教育の充実
 - ・特別支援教育の充実(特別支援教室「みたルーム」、学習支援員・介助員の配置等)
 - ・授業のユニバーサルデザイン化と学習環境の整備
 - ・特別支援コーディネーターの資質向上
 - ・医療機関、発達支援センター等との連携
- ◆幼・小中一貫教育の推進
 - ・「三田アカデミー」の幼稚園・小中学校と連携した授業研究や交流活動
 - ・「小学校入学前教育カリキュラム」の活用
- ◆安全にかかわる教育(防災・防犯等)の推進
 - ・「地域安全マップ」の見直し
 - ・交通安全教室(1・3年)
 - ・安全指導(月1回)
 - ・セーフティ教室
 - ・薬物乱用防止教室
 - ・避難訓練(月1回)
- ◆国際理解教育の充実
 - ・「国際科」の位置付けと外国人講師の配置
 - ・テンプル大学・神田外語学院と連携した授業・体験活動
- ◆環境教育の充実
 - ・「みなと子どもエコアクション」活動
 - ・花いっぱい運動
 - ・企業と連携したゲストティーチャーによる授業

◆◆家庭・地域との連携◆◆ ～地域コミュニティの核は、学校～

- ◆「地域学校協働本部事業推進校」としての取組
 - ・学校支援地域コーディネーターとの連携
 - ・地域・保護者の教育力の積極的な導入
- ◆地域の施設、団体、人材の活用
 - ・近隣の幼稚園・保育園との交流
 - ・地域資源を活用した校外学習(三田公園、亀塚公園、寺や神社など)
 - ・御田小地区防災協議会と連携した「避難所運営教室」
- 《数値目標》「地域の人材を招いたり、地域を訪問したり、地域を教材として学習に積極的に取り組んでいるか。」
- 肯定的回答95%以上/「達成している」75%以上
- ◆学校の取組の積極的な発信
 - ・学校だよりの充実(人権コラム)
 - ・ホームページの迅速な更新
 - ・学校公開日の設定

《数値目標》「学校だよりやホームページなどで学校の様子がよくわかるように伝えているか。」

→肯定的回答95%以上/「達成している」70%以上

- ◆地域の行事や催しへの参加呼び掛け
 - ・地域の祭り、ふれあい運動会、防災教室への参加
- ◆外部の評価の活用
 - ・学校評議員会、学校評価、学校行事アンケート
- ◆家庭における自主学習の推奨
 - ・「家庭学習の手引き」の活用
 - ・家庭読書の日(毎月第4土曜日)
- ◆PTA活動への協力
 - ・ふれあい祭りへの参加
 - ・「リーディング・ツリー」による読み聞かせ
- 《数値目標》「教職員は、PTAや地域の活動に協力的か。」
- 肯定的回答95%以上/「達成している」80%以上

◆◆教育環境・教育体制の構築◆◆ ～最大なる教育環境は、教師～

- ◆教員の自覚と指導力の向上
 - ・「目指す教師像」の実現
 - ・研修会、研究発表会への参加
 - ・校内OJT体制の充実
 - ・定期的な服務研修
 - ・教育公務員にふさわしい言動
 - ・心身の健康管理
- 《数値目標》「電話をかけたときや、学校を訪問した際の教職員の対応は丁寧か。」
- 肯定的回答95%以上/「達成している」70%以上
- ◆個の資質・能力に応じた指導、質の高い授業を行うための体制
 - ・教科担任制:社会・理科(3～6年) 音楽・図工(2～6年)
 - ・少人数指導:算数(2～6年)
- ◆子どもの心の安心・安全・安定を図る組織・体制
 - ・全教員による児童の情報共有(生活指導夕会)
 - ・児童・保護者に寄り添う教育相談(スクールカウンセラーの活用)
 - ・いじめ・不登校の防止、対策(いじめ防止強化月間、いじめ防止対策会議、いじめ不登校対策委員会)
- 《数値目標》「いじめは絶対に許さないという風土が築かれ、未然防止や早期発見・解決に取り組んでいるか。」
- 肯定的回答95%以上/「達成している」50%以上
- ◆施設・設備の整備
 - ・保護者、地域の方々、警察と連携した通学路点検
 - ・校内の安全点検(月1回)